

令和5年度 第3回君津市地域公共交通会議 会議録

- 1 名 称 君津市地域公共交通会議
- 2 開催日時 令和5年11月21日（火）午後2時30分から3時30分
- 3 開催場所 君津市役所5階大会議室
- 4 議 題 (1) 君津市地域公共交通計画（素案）について
(2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）について
- 5 配布物 令和5年度第3回君津市地域公共交通会議資料
- 6 出席委員 15名
荒井 淳一 小林 聡 臺 雄一郎 手塚 真一
高橋 晴樹 藤代 純一 林 正幸 新藤 和巳
榛澤 公進 齋藤 健吉 正能 俊輔 保田 英明
亀田 達也 平野 利夫 藤井 敬宏
代理出席
南 拓也（小松 直人 代理）杉本 忠（小林 喜美 代理）
欠席委員
成田 斉 東城 博 齊藤 敦 川名 正志
- 7 オブザーバー1名
松木 拓（国土交通省関東運輸局交通政策部交通企画課）
- 8 事務局 企画政策部 部長 鈴木 広夫
企画政策部 次長 馬場 貴也
企画調整課 課長 中村 峰之
企画調整課交通政策室 室長 片倉 丈寛
企画調整課交通政策室 副主査 茅野 和佳子
企画調整課交通政策室 主任主事 竹内 裕太
企画調整課交通政策室 主任主事 久保 亮
市民生活部市民活動支援課 係長 倉見 信司
- 9 公開または非公開の別 公開・非公開
- 10 傍聴者 3名
- 11 発言の内容

冒頭、事務局（片倉室長）の進行により開会。

（荒井会長）

皆様、こんにちは。この9月から、副市長に就任しました荒井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は令和5年度第3回君津市地域公共交通会議を開催しましたところ、委員の皆様には大変お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より本市の交通行政に格別なるご支援ご協力をいただいておりますこと

に、この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

さて、ご存知の通り、本市は県内 2 番目の面積を持っておりまして、地域それぞれで状況が異なっております。そのような多様な実態の中で、誰もが快適に移動できる環境づくりに向け、持続可能な公共交通体系の構築を考えていくことは、極めて重要となります。

また、地域公共交通においては、運転手の高齢化や運転手不足など、様々な課題を抱えている状況にあるものと認識しております。

本日は、君津市地域公共交通計画の素案についてなど、2 件の議題についてご審議いただきますが、委員の皆様には、それぞれの視点から忌憚のないご意見をいただきまして、有意義な会になりますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

(片倉室長)

【オブザーバー・出席者の報告、資料確認】

(荒井会長)

それでは、よろしくお願いいたします。なお、本日の会議録署名人でございますが、久留里線輸送力を促進する会 会長の平野委員を指名したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

本日の出席委員は 17 名で定足数に達しておりますので、これより令和 5 年度第 3 回君津市地域公共交通会議を開催いたします。それでは、早速、議事に入ります。議題 1 「君津市地域公共交通計画（素案）について」事務局からの説明を求めます。

(久保主任主事)

議題 1 「君津市地域公共交通計画（素案）について」

～ 資料に基づき説明 ～

(荒井会長)

議題 1 につきまして、事務局から説明がありました。質疑やご意見がございましたら、お願いします。

(平野委員)

第 6 章 施策 3 公共交通サービスの向上 ・交通と他分野が連携した取組の検討と書かれています。今わかっている範囲でどのようなイメージを持っているかお話しいただければと思います。

(久保主任主事)

現時点で想定しているものは、例えば、交通と商業の連携として交通結節点での

移動販売や車両内での物販、また、交通と福祉の連携では、タクシー券の配布の拡充、交通と防災の連携では、電気自動車や燃料電池車両の導入などです。いわゆる、公共交通だけでなく、他分野と連携して、利用促進していこうというものです。

(荒井会長)

それでは、他にございますか。

(正能委員)

まずは君津市地域公共交通計画の鉄道事業者として実施していく内容については、引き続き調整させていただければと思います。

そのうえで、交通ネットワークや利便性の維持、向上という観点で、目標に関する視点が、主に市の体制に関する取組に関する内容となっており、市の財政負担によるところも大きいと認識していますが、バスや他の業態などを含めた公共交通の経営状況もなかなか厳しい状況下にあることを理解したうえで、計画にも反映していただければというお願い事項でございます。

また、計画本編 57 ページの第 4 章から、それぞれの公共交通の交通手段で、役割みたいなこと含めて整理していただいているところで、鉄道やバスといった個別の交通モードで分けることなく、一体的に公共交通を利用することなどの整合性のある存在意義や対応といった形での記載や取組の方向性を示して頂ければと思います。

いずれにしましても、引き続き君津市と協議を重ねながら、当社としても計画にしっかりと参画していくつもりでございます。

(中村課長)

持続可能な交通を実現していくにあたっては、自治体のみならず、事業者と連携しながら取り組みを進めていく必要があります、交通事業者においても燃料費、人件費・物価高騰など経営に及ぼす影響が存在していることを認識しています。今後の公共交通を考えていく上では利用促進なども含めて、事業者と一体となって取り組んでいきたいと考えています。

もう 1 点の計画本編 59 ページの交通手段ごとの役割については、あくまでも役割を凡例的に示しているのであり、交通手段により何かを区分するものではございません。それぞれの役割をふまえたうえで、計画を進めていければと考えています。

(藤井委員)

概要版で非常にわかりやすく体系的に整理されている印象があります。計画期間が 7 年間すなわち 2030 年までとなっており、君津市の総合計画と同じ期間になっています。更に公共事業と親和性の高い SDGs の目標年と同一となっています。今の時

代の計画といったように、DX や GX に向けた取組や新技術の導入といったキーワードが出てきます。これは総合計画にも位置づけていくものとも認識していますが、そういったことを実現するために具体的にどうしていくのか、公共交通とどのようにマッチングさせてキーワードを膨らませていくのか、今後書き込んでいく必要があると思います。特に、脱炭素の部分では鉄道・バス事業者で転換していくことが謳われていて、ゼロカーボンに向けてEV や FCV など燃料系にアプローチするような機運があるように思えます。こういった取組は地域の事業者だけで解決しないことは理解しますが、現状維持だけでなく、積極的なチャレンジを持って地域の公共交通を動かしていくものとして進めていく旨がどこかに書かれているとよいと思っています。ぜひ、そういう前向きな発信されることに期待したいところです。

また、国の補助事業にも関連しますが、路線を維持するという仕組み難しくなってくる中で、維持するだけでなく、あり方を検討するような施策を戦略的に進められるように検討していただけたらと思います。

(中村課長)

SDGs との関係については、計画本編 3 ページに記載しています。君津市では多くの計画で 2030 年を計画年限とし、総合計画の目標年限と整合を図っています。そういった中において、公共交通計画では、SDGs に掲げられる目標のうち 3 つのゴールを達成していくよう取組みを進めていければと思っています。また、目標達成に向けては直接的な効果を測る一次指標だけでなく、二次指標としてまちづくりに関連したアウトカム指標を設定しています。

脱炭素に向けた取組は、今後の主要な対応の中で必要不可欠な取組として認識していますが、設備投資には経費も掛かっていくことも理解しています。事業者と共通認識をもち、持続可能な取組につながるか、姿勢も含めて進めていければと考えています。

また、第 4 章以降では、市の基本的な方向性を示しています。当然ながら、この背景には君津市の抱える課題をふまえて設定していますので、これらの施策等の推進につなげていけたらと思います。

(藤井委員)

先ほど申し上げたことを無理に書き込まなくてもいいと思います。姿勢として前向きに進んでいることを意識してほしいと思っています。

また、地域公共交通計画の計画年次が 2030 年までかかるといったものがほとんどない現状にあります。そういった意味では SDGs を一歩進めたエリートな計画になることをぜひ意識して頑張してほしいと思います。

(荒井会長)

それでは、他にご意見のある方はございますか。

(南委員代理)

計画本編 68 ページ 事業②バス路線の再編において、路線の維持、確保を実施していくことが謳われています。国や県の補助を受けている系統について整理していくことが今後補助を受けていく中で必要となっていくと思いますが、具体的な傾向等をふまえながら、事業の中で系統を落とし込んでいくのかどうか教えていただければと思います。

(久保主任主事)

質問趣旨が計画本編 68 ページ、取組 2 の内容で、地域公共交通確保維持事業との関連性というご質問だと思いますけれども、計画本編 60 ページをお開きください。こちらに、補助事業との関連ということで、路線バスの必要性、路線バスの一覧を記載しております。また、61 ページにはコミュニティバス、デマンドタクシーまで記載しています。

このように地域内に存在する交通網の一覧を示すとともに、各路線の必要性を 60、61 ページでまとめようと考えています。

(南委員代理)

補助金には要件があり、利用状況が悪化すると補助路線から外れてしまうようなことが考えられます。今後も路線を維持していくために、国や県の補助を受けるよう地域公共交通計画の別紙として、来年の 6 月までに素案を作成し君津市地域公共交通会議で示していくことが求められてきます。引き続き補助を受けるにあたっては、維持してだけでなく、路線バスの収支を改善していくことを別紙に位置づけていく予定ですので、君津市地域公共交通計画素案ではモビリティ・マネジメントといった利用促進に関する内容もありましたが、今後こう言った取組と連動させて、収支率を改善していくことを整理し、君津市地域公共交通会議で議論できればと思います。

(荒井会長)

それでは、他にご意見のある方はございますか。

(松木オブザーバー)

気になる点 2 点について検討いただければと思います。

まず 1 点目ですが、目標管理という第 5 章の各指標についてです。これは、いろんな取組をやった結果、このように利用してくれるとか、モビリティ・マネジメントの取組回数といった取組自体の数を指標とするものが混在しているのが気になります。国でも、指標を設定するときも、できるだけ取組自体の数よりは、その取組をやった結果どうなるかという、指標で管理してくださいとお願いしています。現

時点では、一次指標と二次指標で分類されている中でも、混在しているようにも見えるので、ここを整理していただければと思います。事業数自体は、当然、計画に書いてやりませんでしたとなると、それはそれで問題だと思うので、それを目標にさせていただくこと自体が、悪いというわけではないが、事業結果がどうなったのかというところを、しっかり見ていただきたいです。

もう1点は、君津市らしさといった点についてです。スクールバスの取組ってどこかに書かれていますか。もう少し実際にやられていることを具体的に書かれると君津市らしさが計画に出てくると思います。スクールバスの活用は他の分野と連携した取組みに含んでも良いと思います。サービスの向上というより、今実施している独自の取組を計画に位置づけることで、正確にアピールできるのではと考えております。

(中村課長)

取組指標の設定、例えば、運転手の確保に向けた取組回数の設定につきましては、事業者とのヒアリングの中で、運転手の採用までつながれば、それに越したことはないが、取組があるだけで十分な効果が得られるものという話もあり、指標に取組回数を設定している背景もございます。

また、君津市らしさとして、スクールバスを活用して実証運行しているこいっとバスは、他分野と連携した取組としての特徴ではありますが、今年度については、昨年度の結果を踏まえた実証運行の中で改善しながら進めている状況もございません。こういった事業は、次期計画においてファースト・ラストワンマイルの取組の一つとして今後も検討していければと考えています。

(小林委員)

計画本編 75 ページ 事業⑤ 公共交通の担い手確保になりますが、運送事業における担い手確保に向けて、短期的に令和6~7年で企画内容を協議検討、検討結果を踏まえて随時実施と書かれているが、これらが別の話をしようとしていると見えてしまい、説明を伺っていると取組を実施しつつ、改善していくことを考えていると思います。運転手不足はこれまでも続いており、グラフの書き方と齟齬があるように見えてしまいますので、記載についてご確認いただければと思います。

(中村課長)

運転手の確保に向けた取組は、現在、実施しているところではあり、目標値も年1回の取組を増加させていくということで、年1回以上と目標値を設定させていただいております。

新たな取組にあたって、企画・検討する中で、どの段階でどのような内容を実行していくか今後、具体化していく状況ではありますが、皆さんに分かりやすい形で、既存の取組もふまえて表現を調整させていただければと考えています。

(荒井会長)

他にございますか。それでは、ご意見もないようですので、議題1につきましては承認としてよろしいでしょうか。

～異議なし～

本日いただきましたご意見を基に、必要に応じて修正を加えた後、パブリックコメントを実施したいと思います。

次に、議題2「地域公共交通確保維持事業の事業評価（案）について」事務局からの説明を求めます。

(久保主任主事・倉見係長)

議題2 「地域公共交通確保維持事業の事業評価（案）について」

～ 資料に基づき説明 ～

(荒井会長)

議題2につきまして、事務局の説明が終わりました。議題2につきましてご意見ございましたらお願いいたします。

—意見なし—

(荒井会長)

それでは、議題2について、承認としてよろしいでしょうか。

～異議なし～

それでは以上を持ちまして本日の議題については終了とします。それでは進行を事務局に戻します。

【その他事項】

1. 手塚委員より、タクシー運賃の運賃改定についての報告があった。
 - ・国土交通省のプレスリリースにもある通り、君津市が該当する千葉県B地区での運賃値上げについて関東運輸局で審査を行い、10月20日時点で承認を受け、公示となっている。
 - ・燃料費の高騰や人材確保のために実施するもので、初乗り運賃や走行中に増加する運賃の幅は変わらないが、初乗りや走行距離に応じた加算運賃の距離が短くなり実質的な値上げとなっている。

2. 林委員より、地域公共交通計画の作成途中で任期満了を迎える委員がいるため、委員の委嘱について配慮されたいと要望があった。

(事務局より回答)

・設置要綱に則り、再任も踏まえて委員等と調整していく。もし、再任でない場合も、事務局から委員にレクするなどフォローしていく。

最後に事務局（片倉室長）から事務連絡があり閉会。

午後3時30分閉会

会議録署名人 平野 利夫